

教 科	科 目 名		
数 学	数 学 II		
科目の種類	単位	形態	講座定員
2年選択必修	4	通年	40人

科 目 に つ い て	年 間 の 授 業 内 容	<p>1年次で学習した数学Ⅰを発展させ、図形、関数についての深い理解や追求を行っていく。 特に、関数の分野では、高校数学の最もポピュラーなものである微分・積分について学習する。</p> <p>■<1学期中間 23時間></p> <p>1. 複素数と方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 式の計算 ・ 複素数と2次方程式 ・ 高次方程式 ・ 式と証明 <p>■<1学期期末 17時間></p> <p>2. 図形と方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 点と座標 ・ 直線の方程式 ・ 円の方程式 <p>■<2学期中間 30時間></p> <p>3. いろいろな関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三角関数 ・ 加法定理、弧度法 <p>■<2学期期末 31時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指数関数と対数関数 <p>4. 微分と積分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 微分係数と導関数 ・ 関数の増加減少 ・ 極大極小と最大最小 <p>■<3学期 39時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不定積分 ・ 定積分 ・ 面積の計算 	選択条件	将来、理系方面の進路を考えている者、数学をさらに学びたい者
			授業形態	講義形式
			教科書・使用教材	教科書 新版数学Ⅱ(実教出版) 使用教材 数学Ⅱサブノート改訂版 標準(実教出版)
			評価の観点	・定期試験、授業等を通して基本的な知識理解が身に付いているかどうかを評価する。
			評価の方法	・出席、定期試験、課題、授業態度等を含め総合的に判断する。
備考				